

産業建設分科会会議録

=====
日時 令和8年2月10日（火曜日）
午前10時30分から午前10時39分まで
場所 第4委員会室

日程

- 1 開会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 付託された議案の審査
(1) 議案第1号 令和7年度土浦市一般会計補正予算（第7回）
 - 4 閉会
-

出席委員（8名）

委員長 今野 貴子
副委員長 吉田 直起
委員 竹内 裕
委員 寺内 充
委員 海老原 一郎
委員 平石 勝司
委員 下村 壽郎
委員 島岡 宏明

説明のため出席した者（4名）

産業経済部長 羽成 健之 建設部長 渡辺 善弘
商工観光課長 佐々木 啓 水道課長 滝田 昌暁

傍聴者0名

事務局職員出席者 古宮 英剛

○今野委員長 ただ今から産業建設委員会を開催いたします。本日、委員会室内においては、体調管理のために水分補給を許可します。本日は、はじめに分科会に付託されました令和7年度補正予算について審査を行い、続いて、

委員会に付託されました議案の審査を行います。発言の際は、会議録作成のため、マイクの使用をお願いします。資料は、サイドブックスの「本会議」「令和8年」「第1回臨時会」「事前配布資料」「議案第1号～議案第2号」をお開きください。執行部の方は、説明の際にページ数を示していただきますようお願いいたします。それでは、(1)議案第1号令和7年度土浦市一般会計補正予算(第7回)について、都度の指名を行いませんので、順次、説明をお願いします。

○佐々木商工観光課長 商工観光課でございます。資料10ページをお願いいたします。6款商工費、1項商工費、2節商工振興費の土浦市物価高騰対策支援事業につきまして、御説明いたします。この事業でございますが、食料品等の物価高騰の影響を受けている市民生活を支援することを目的といたしまして、全ての市民を対象に、市民一人当たり5,000円のデジタルギフトを配布するものでございます。そして、スマートフォンをお持ちでない方、デジタルギフトの利用が難しい方には、別で5,000円分のV i s aギフトカードを配布することで、全市民を支援する仕組みとなっております。実施方法といたしましては、4月から5月にかけて、個人ごとの二次元バーコードが付いた通知を全世帯へ配布いたします。通知到着後、概ね2か月間、デジタルギフトを利用するかV i s aギフトカードの送付を希望するか意思表示期間を設けます。そして、デジタルギフトを利用する方は、意思表示後、すぐに1,800種類を超える商品や電子マネーポイントから選択し御利用をいただくことができます。一方、V i s aギフトカードを希望された方、あるいは、デジタルもギフトカードも希望されなかった方へは、6月末から7月末以降にV i s aギフトカードを発送する予定でございます。予算要求額でございますが、1人当たり5,000円の支援原資として、7億1,000万円で、その他、郵送料やカード発行手数料、コールセンター等の事務局運営費を含む委託料として、合計8億3,415万4,000円を要求させていただきました。説明は以上となります。

○滝田水道課長 水道課でございます。引き続き、御説明いたします。下の表の7款土木費、4項都市計画費は、重点支援地方創生臨時交付金を活用いたしました水道基本料金の減免及びシステム改修の増額補正で水道課への操出金でございます。説明は以上でございます。

○佐々木商工観光課長 商工観光課です。恐れ入ります、サイドブックスでは5ページを御覧いただきまして、第2表繰越明許費補正の上から3段目の

箱、先ほど御説明をいたしました土浦市物価高騰対策支援事業につきましては、全額を令和8年度へ繰越しをさせていただきくものでございます。説明は以上となります。

○滝田水道課長 水道課でございます。7款土木費、4項都市計画費は、水道事業会計の繰出金であり、家事用基本料金の6か月相当分の1億7,631万円を繰越すものでございます。説明につきましては、以上でございます。

○今野委員長 ありがとうございます。この件について、御意見や御質問等はございますか。

○竹内委員 5,000円の件さ。何だかんだいろいろな手続を終えて、ややこしいと思うんだけど私は。それでも、5,000円をAさん、Bさんに渡すわけだよ、全市民だから。その5,000円が間違いなく、Aさん、Bさん、Cさんに入ったというような確認はどういうふうにするのですか。

○佐々木商工観光課長 我々のほうで、二次元バーコードで全員分を管理していますので、それを世帯ごとに皆さんに送る手続を進めているところでございます。その二次元バーコードでデジタルを希望したのか、あるいはV i s aギフトカードにしたのか、その辺も確認を取れる、そういうシステムになっていますので、その辺をしっかりと確認していきたいと思っております。

○竹内委員 Aさんの家には、Bさん、Cさん、Dさんも住んでいて、皆さんにそれぞれ5,000円をもらえるわけだ。こういう時代だから、前の交付金の時もそうだけど、誰がもらったのか。そういうところは、今言ったような形で確認をするわけ。

○佐々木商工観光課長 あくまでも住民登録のある住所に送らせていただいて、それで到達したものと考えるものでございます。

○平石委員 1点だけ確認させてください。今までのプレミアム商品券ですと、基本的に使えるお店にはポスターなど貼ってあったと思うのですが、今回のV i s aギフトカードだと、大体どこでも使えるんだろうと思うのですが、そういった使えますという告知というか、そういったものをされる予定はあるんですか。

○佐々木商工観光課長 今回、かなり広範囲のお店で使えるような形でございます。また、V i s aギフトカードを選択した方は、1億3,000店舗近く、使えるような感じでございます。その中で、ホームページ等々でその辺はお知らせしたいと思いますが、紙で何かしらをお渡しするということが、

かなり膨大な量になりますので、それはちょっとどうかなという部分もご
ざいます。何かしらの方法でその店舗を周知できるような形をとりたいと思っ
ております。

○竹内委員 これは市内に住む外国人にも該当するわけ。

○佐々木商工観光課長 おっしゃるとおりでございます。

○今野委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○今野委員長 では、お諮りします。分科会としての賛否を確認いたします。

この補正予算案について、賛成される方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

○今野委員長 全員賛成と認めます。分科会長報告書については、いかがい
たしますか。

(「委員長一任で」と呼ぶ者あり)

○今野委員長 承知いたしました。それでは、産業建設分科会を閉会いたし
ます。